

男女共同参画キャッチフレーズ最優秀賞・優秀賞が決定し、表彰式が開催されました

2024年度は、全354作品の応募のなかから、学長を委員長とした選考委員会によって次の3作品が選ばれました。男女共同参画の広報・啓発活動に使用されます。

最優秀賞

- ・「みんなが持つてる自分のカタチ
みんなで作ろう自由のパズル」
大森 六々生さん（人文学部3年次生）

優秀賞

- ・「わからないをたくさん
なるほどたくさん」
桑原 悠成さん
（経済学部1年次生）
- ・「違いを力に、共に前進」
植野 瑛翔さん（総合リハビリテーション学部1年次生）



管理職・役職者を対象とした男女共同参画推進講演会を開催しました：9月12日（木）

日清紡ホールディングス株式会社・代表取締役社長の村上雅洋さんをお迎えして、「人権尊重経営の現在地——課題解決に向けた取り組み」と題したご講演をいただき、約90人が参加しました。

村上さんは「真の価値は人間にある」という考えを元にした自社のD&I、人権DD（デュエリジェンス）の取り組みを紹介しました。女性やマイノリティのための支援という枠組みだけでなく、人事制度の改訂や大規模な従業員サーベイなど、仕組み自体を変えていこうとする柔軟な視点が印象的でした。



ダイバーシティ座談会を開催しました

7月5日はKACにて人文学部の金益見准教授、7月16日はKPCにて現代社会学部の江田英里香教授、グローバル・コミュニケーション学部の深田将准教授が登壇し、両日合わせて計400人の教職員・学生が参加しました。

ダイバーシティをめぐって、金准教授は「『みんな違ってみんないい』というよりも、『みんな違ってみんな大変』という発想を持つことも大切」。江田教授は「自分の当たり前を『当たり前』と思いつぎないこと」。深田准教授は「ダイバーシティ（diversity）には、「di」は『異なる』、「vers」は『方向』という意味がある。『みんながそれぞれ違いながらも、同じ方向を向いている』という意識が重要だと思う」と話しました。

オンライン・ランチタイムミーティングを開催します：11月11日（月）

◆42B 会議室@KAC+Zoom /12:00-13:15

ランチタイムの時間に、オンラインでつながっておしゃべりしませんか。今回は「介護」もテーマのひとつにしたいと思っています。

上谷聡子先生（共通教育センター）のオンライン・ストレッチ講座もありますよ！出入り自由ですので、ちょっと覗くだけでも、どうぞお気軽にご参加ください。



ID : 955 4453 7076 PASS : 2024

SRHR カフェ「私たちの生理」を話そう」を開催しました～9月19日～

学部をまたいで8名の学生が参加し、①「私の生理」あるあるを話そう、②「私の生理」の困りごと、③「私たちの生理の健康」のために必要なこと、についてディスカッションしました。

「生理用品の値段が高い」ことに対して、軽減税率（8%）の対象にという声から、トイレでの無料配布や学割などの具体的な提案が出されました。参加者は「生理は個人だけの問題じゃないと感じた」と話しました。



オンライン・ランチタイムミーティングを開催しました～7月8日～

教職員10名が参加して、「生理の貧困」の対応や、本学のトイレ利用に関する学生アンケートの結果を共有した上でのディスカッションを行いました。その後は、オンライン・ストレッチで体をほぐしました。

介護ワークショップを開催しました～9月19日～

劇団「OiBokkeShi」主宰の菅原直樹さんは、「演劇の原点は遊びだ」として、遊びとリハビリテーションを組み合わせた「遊びリテーション」を開発し、参加した約20人の教職員と一緒に、体の部位に番号を振りルールに従って指差しする「将軍ゲーム」、協力して鬼を椅子に座らせないように協力の「椅子取り鬼」を行いました。

また、ケアする場の演技として「イエスアンドゲーム」に挑戦しました。自分が話していることを肯定されることを通して、記憶違いや幻視がある認知症患者の世界を尊重することの大切さを体験しました。

和気藹々とした雰囲気でのワークショップとなりました。



神戸学院大学 男女共同参画推進室

住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3

電話 078-974-1551（代表）内線 84453
078-571-0927（直通）

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp